

参加者数

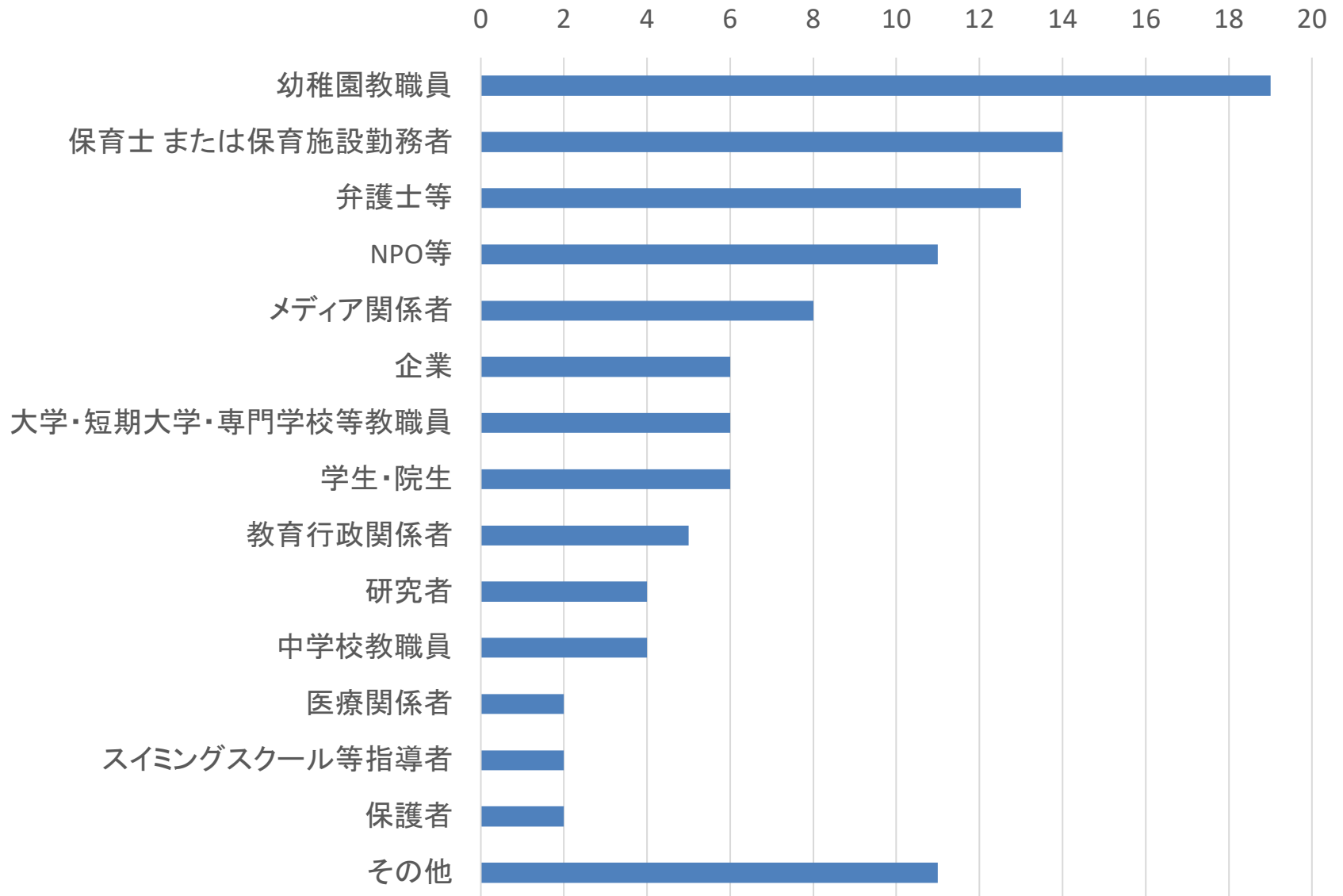
募集人数:240名

事前申し込み者:122名

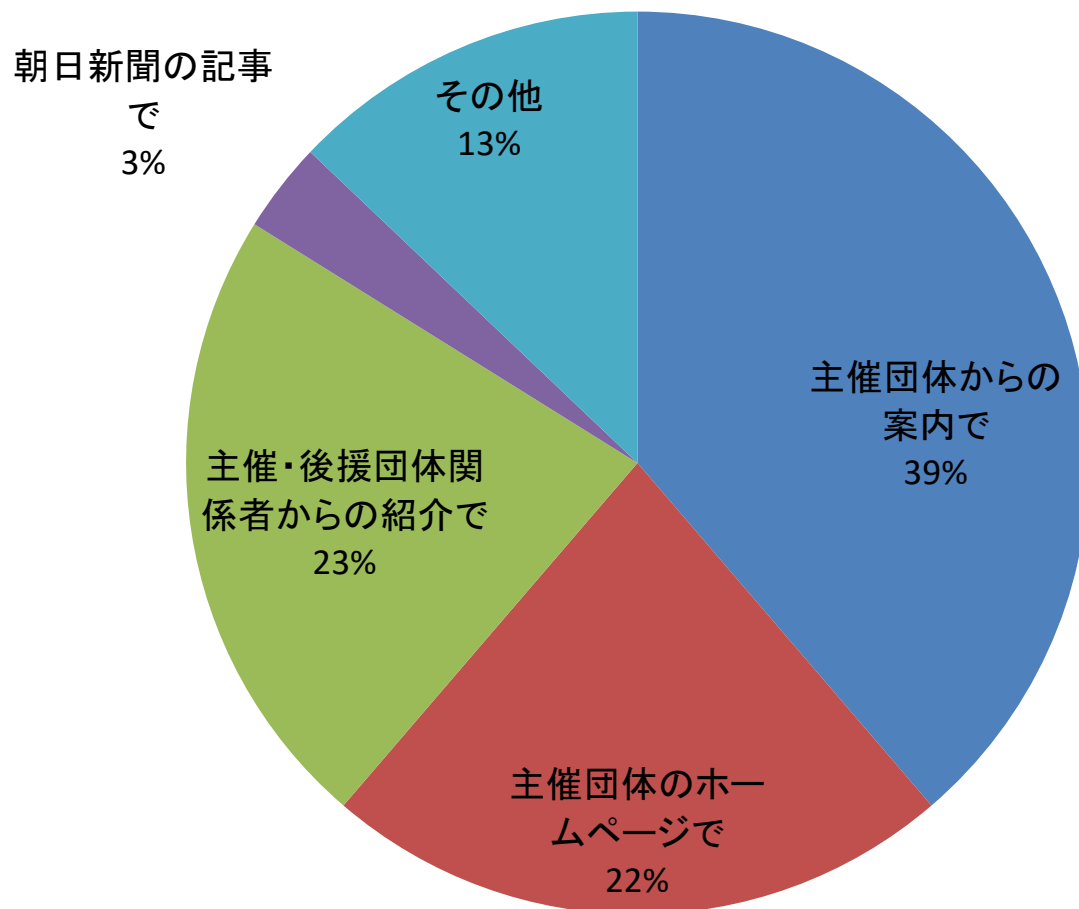
事前申し込みなし:5名

当日参加者:93名(約76%)

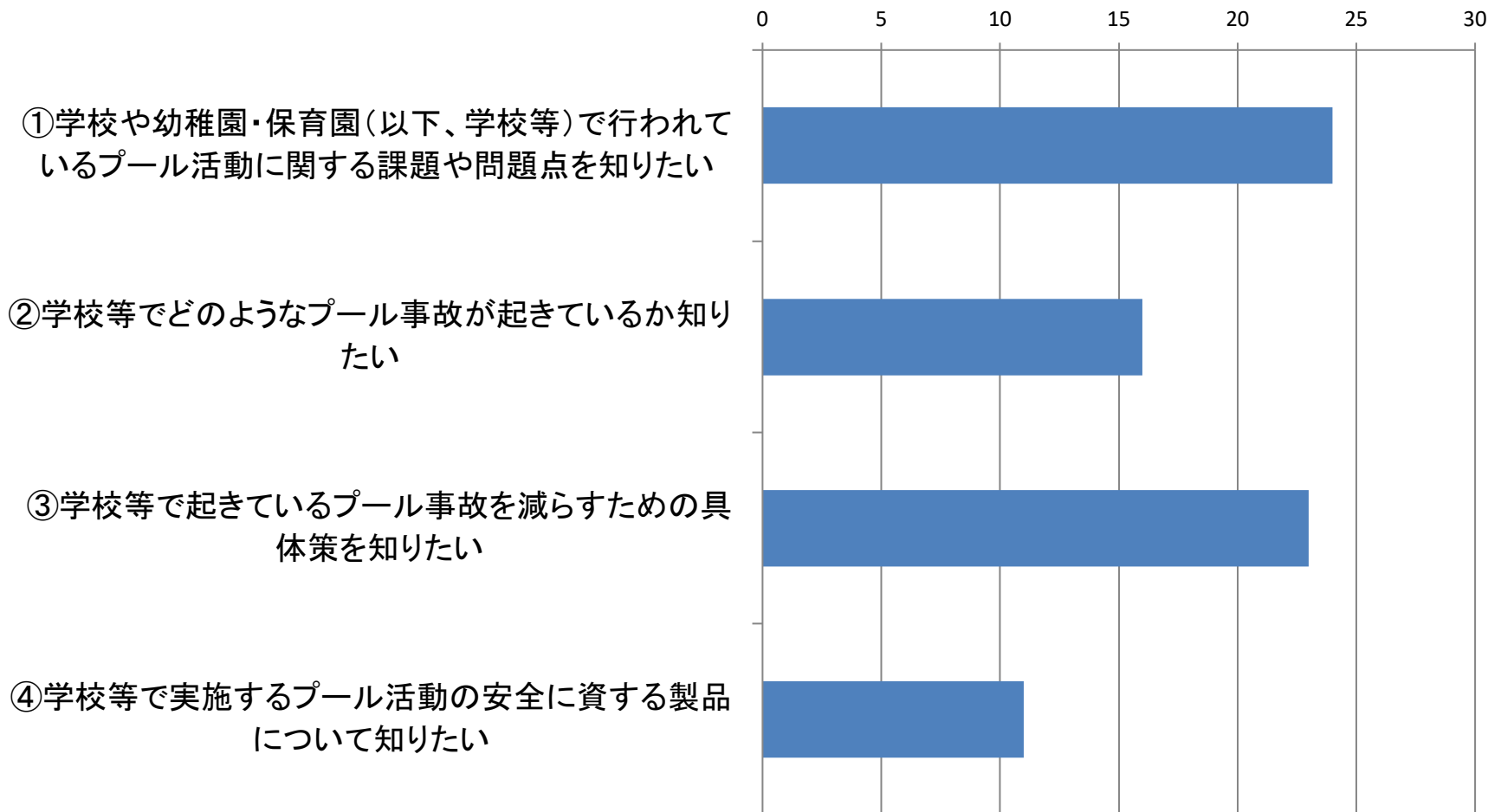
申込者属性



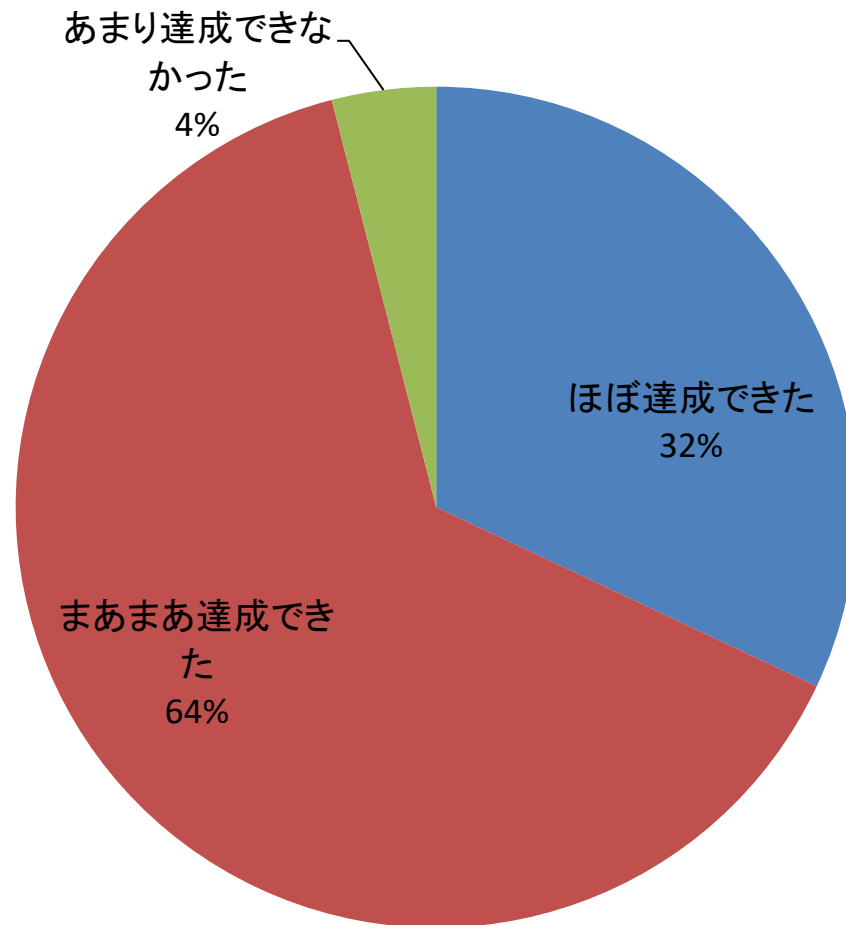
このシンポジウムを知ったきっかけ



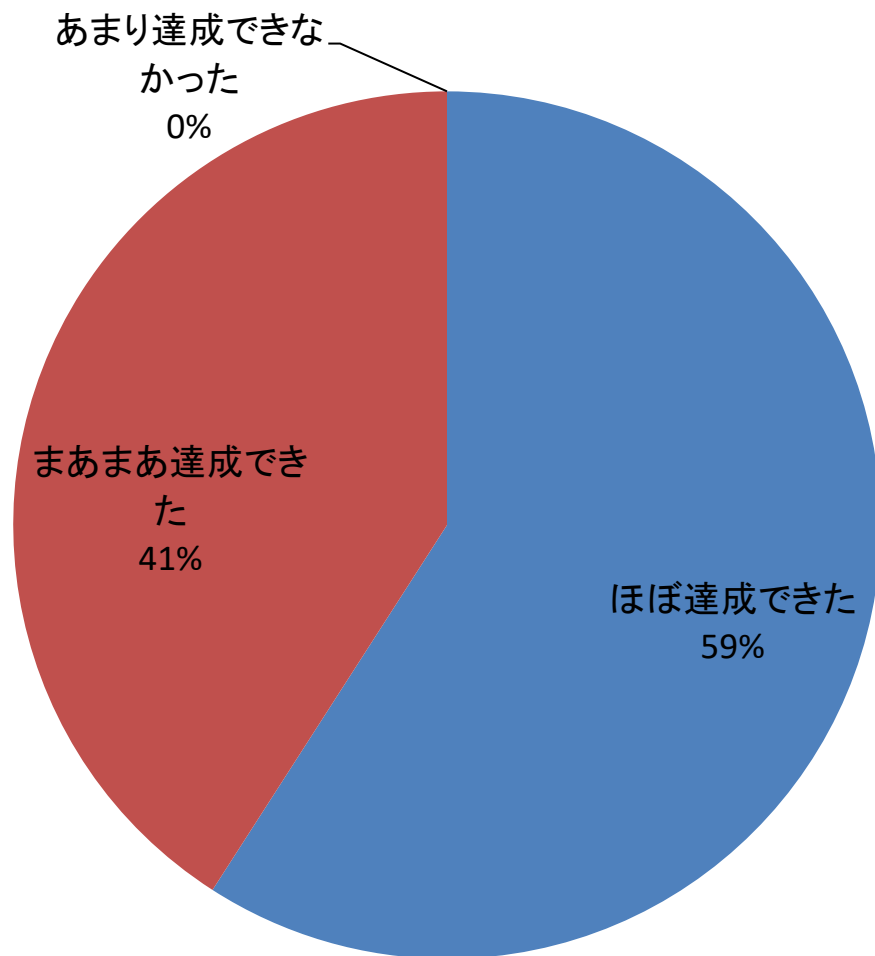
このシンポジウムに参加した理由



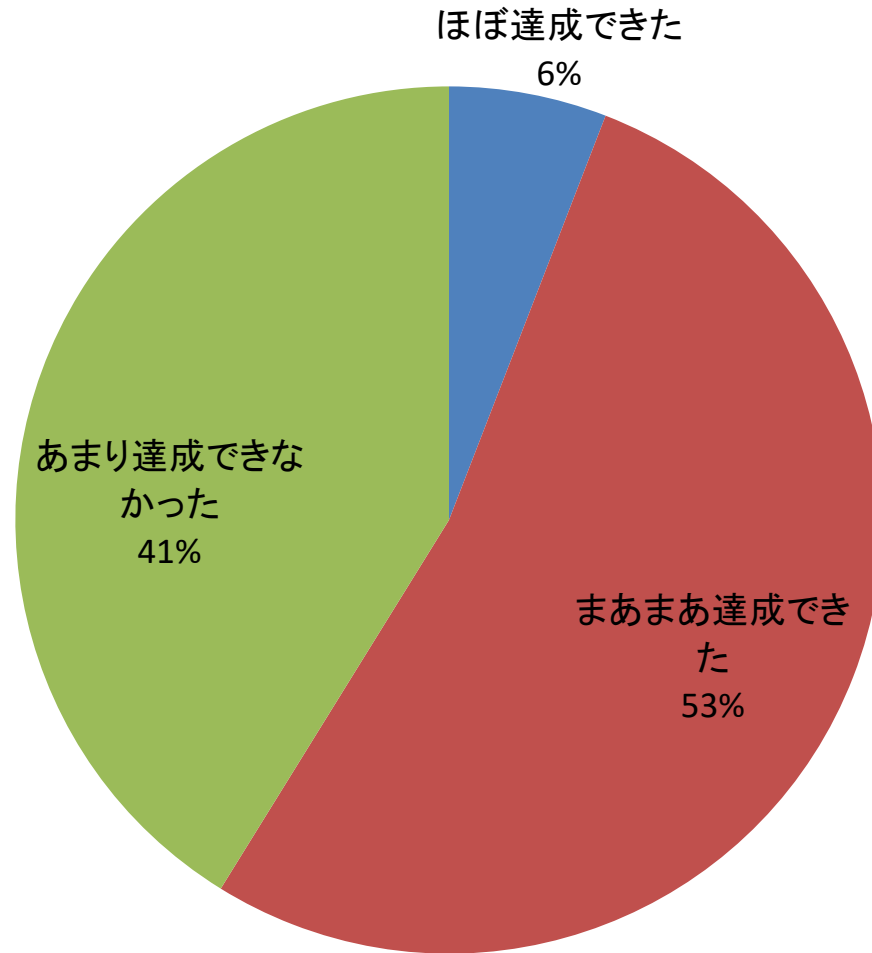
「プール活動の課題や問題点を知りたい」 の達成度



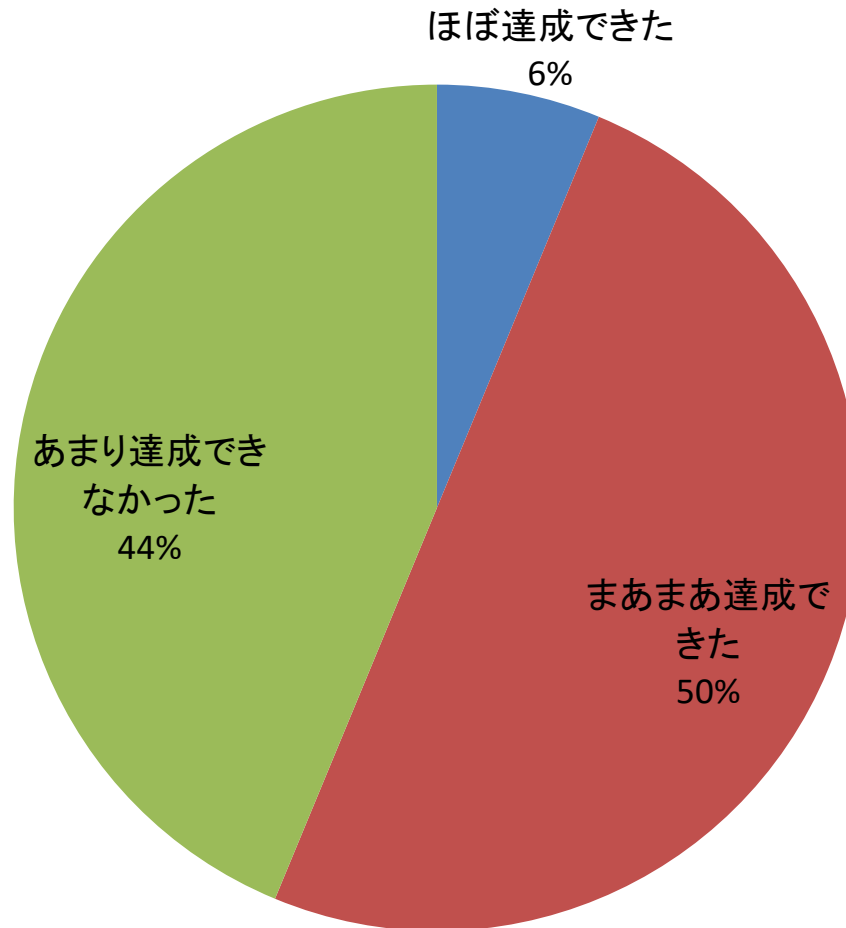
「どのようなプール事故が起きているか 知りたい」の達成度



「プール事故を減らすための具体策を知りたい」の達成度

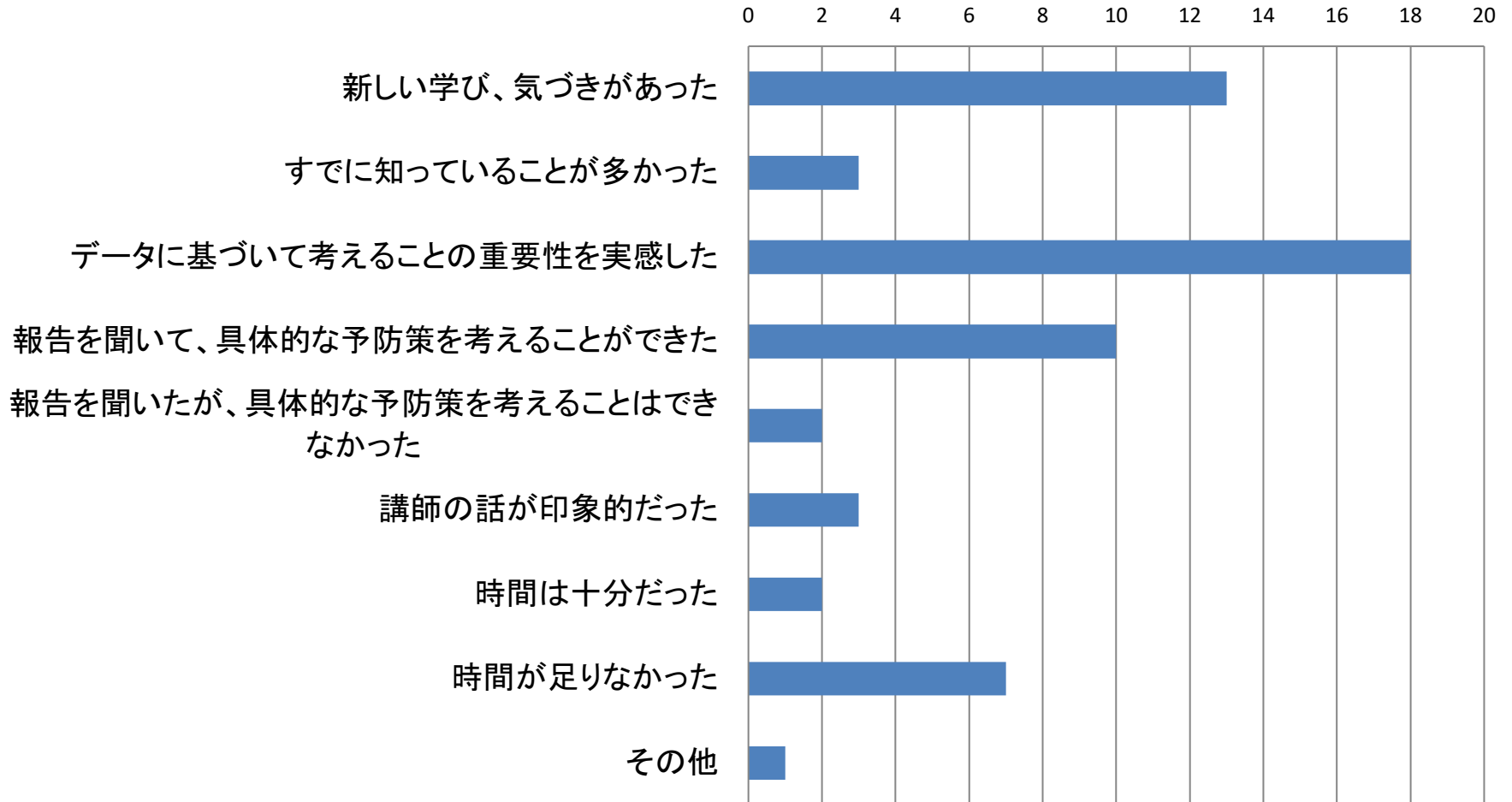


「プール活動の安全に資する製品について知りたい」の達成度



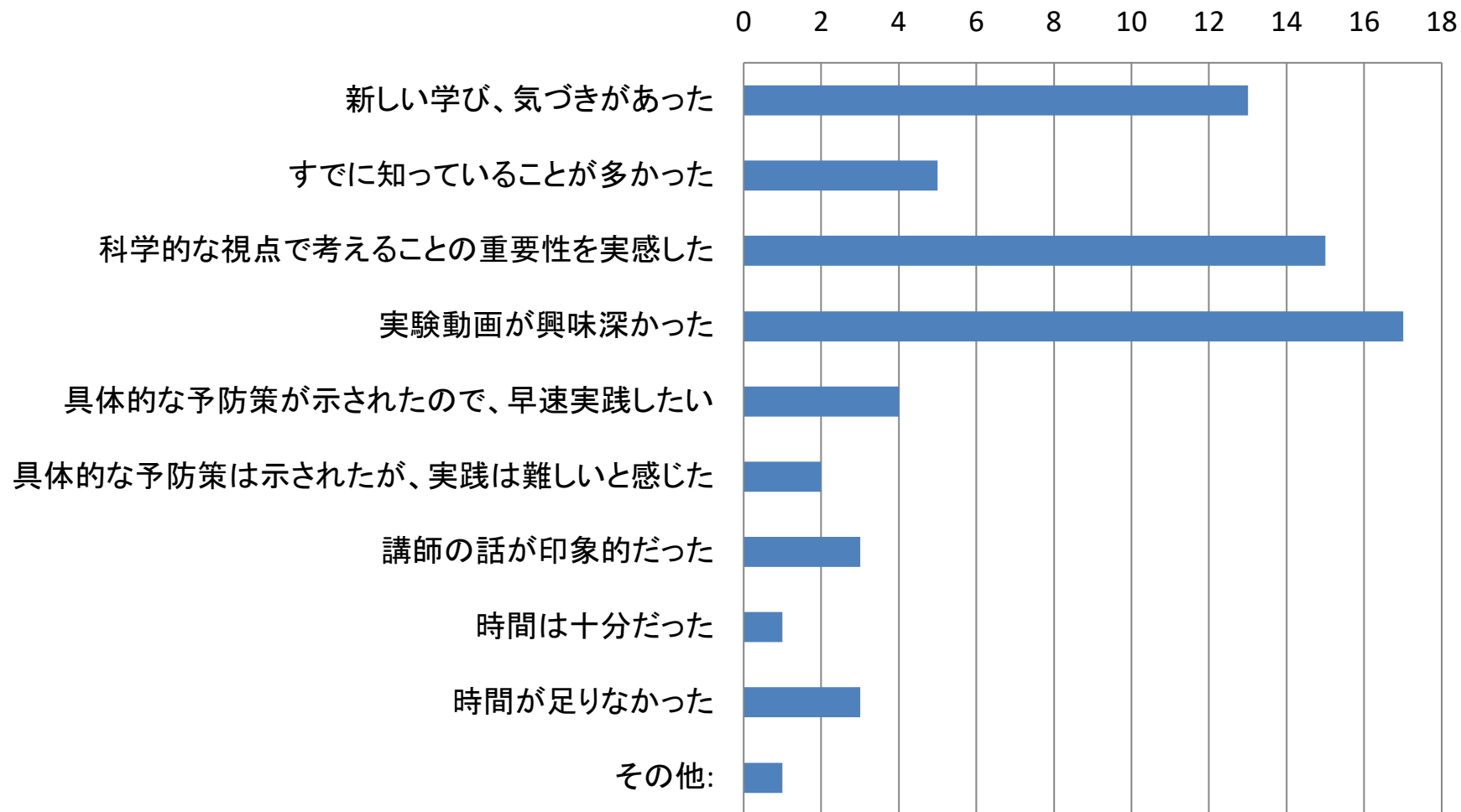
報告1

学校プールにおける事故の分析について



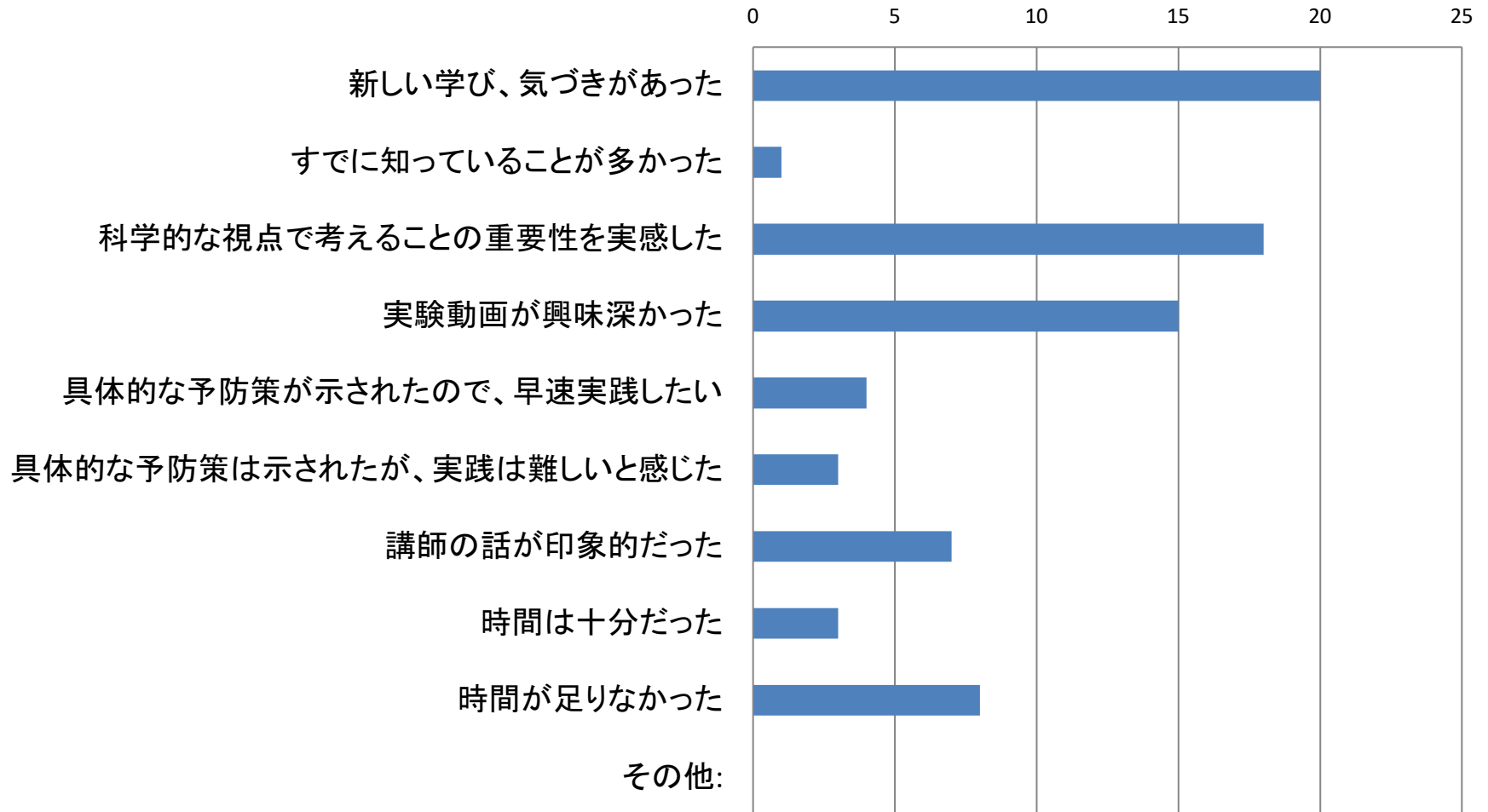
報告2

スタート事故予防のための提言について

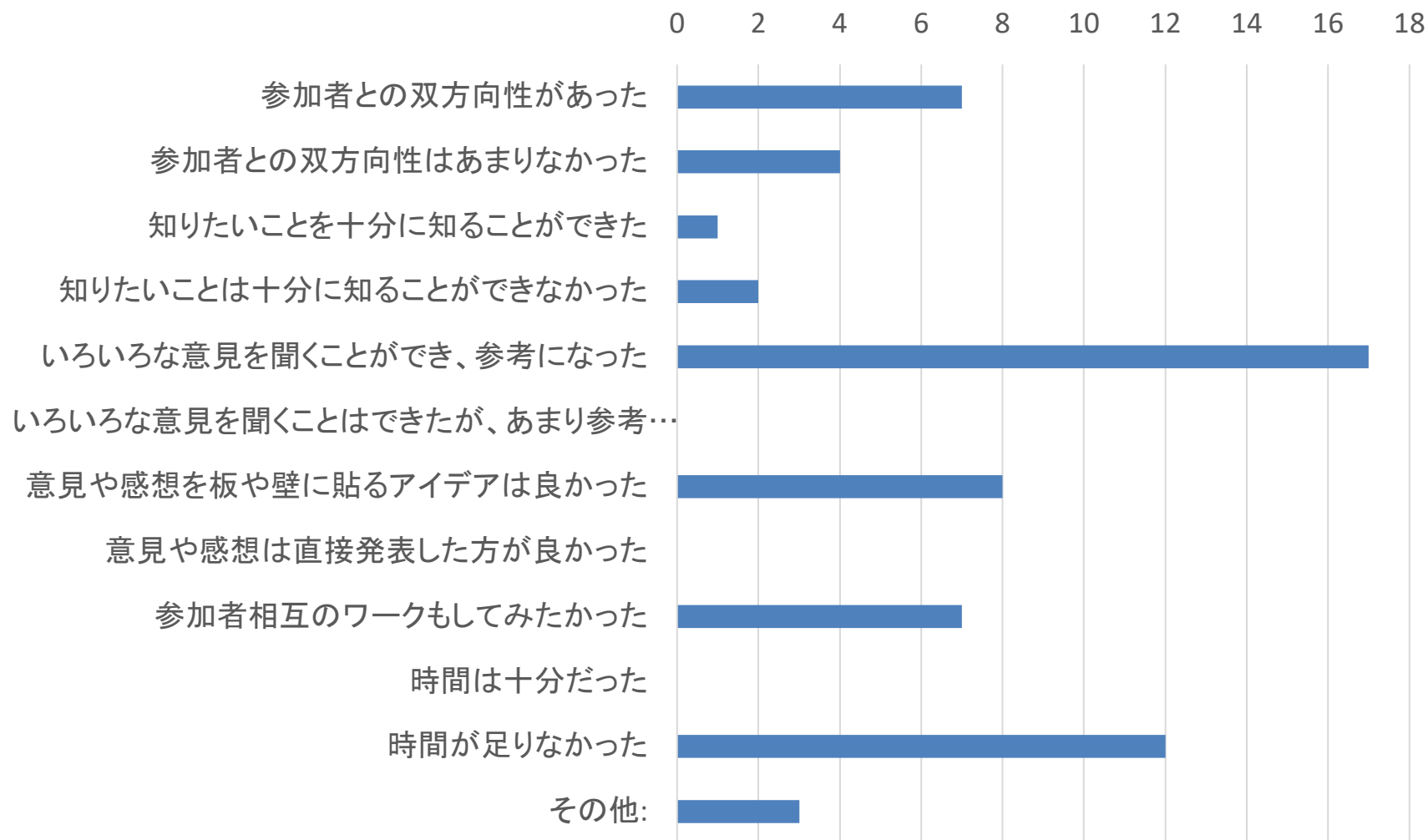


報告3

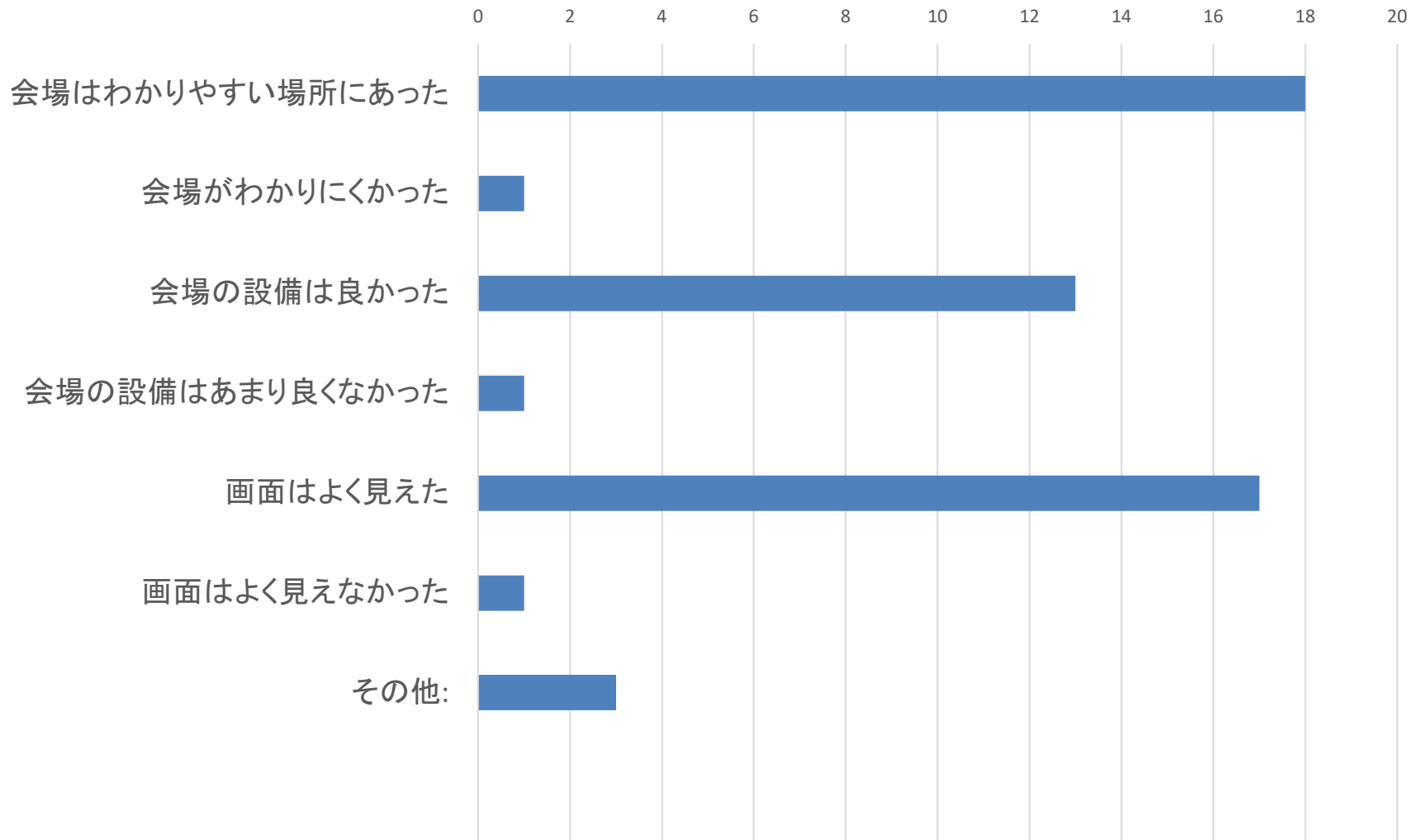
溺水事故予防のための提言について



ディスカッションについて



会場等について



今後取り上げてほしいテーマなど

子どもの溺れ事故にたいする対策のあり方について継続お願いします。

幼児の固定遊具アスレチック等の安全対策、高さ、隙間、子どもの成長発達を考えたの仕組みなど

改訂学習指導要領では、特別な支援が必要な子ども達への配慮の仕方として各教科ごとに具体的な記述がされています。今後ますますインクルーシブ教育が進んで行くにあたり、授業の中でどのような事故が起きる可能性があるのか全く見当がつかないのが現状だと思います。支援が必要な子ども達に起こり得る事故を挙げ、具体的な対処方法や施設・設備などの改善・充実、教材や教具の作成・使用上の注意事項等、幅広い視点での事故防止を学びたいと考えます。

中学校や小学校がメインだったので、保育園・幼稚園を主にした内容

柔道事故

プールでの事故に関して、もう少し実態把握。
幼稚園や保育園など法的な規定のない施設でのプールの構造の実態をもう少しデータと共に知りたかったです。

機械体育や校舎内外の事故等について

園での研修の仕方

午睡中の事故、大型遊具の事故

映像を使った講義が良かったので、今後も活字だけではなくもっと映像を希望します。

シンポジウム全体を通しての感想など

お話しが聴きやすく、わかりやすい説明をして頂き、時間が短く感じられる程でした。勉強させて頂きました。ありがとうございました。

スポーツの事故に関して、今までは教育関係者のお話ししか聞いたことがなかったので、弁護士の方からお話を聞いたことはとても興味深かったです。

今回初めて参加しましたが、事故要因を科学的に紐解いておられ参考になりました。体育、部活の事故が無くなるのは、誰が悪いを追求する風潮が色濃いかからかと思えました。被害者が再発防止を訴えるためには訴訟するしかないことが起因しているように思います。事故調査の改善、例えば、医療事故調の取り組みを学校に応用するなど方法があると思います。事故について何が悪かったという見方にならない限り、再発は防ぐことは難しいと感じています。行政との連携が課題かもしれませんね。今回はありがとうございました。

シンポジウムを開催してくださり誠にありがとうございました。子どもたちは、水遊び、プール遊びが大好きです。大好きだから興奮して思わぬ事故を引き起こし、職員もちょっとだけならと安易な考えが取り返しのつかない事故になるのだと身にしみたシンポジウムでした。また、参加させてください。ありがとうございました。

シンポジウム全体では、纏まりがあり良かったと思います。個人では、部分的に詳細を知りたいと思いました(講師紹介の実例等を調べます)

最後のディスカッションの時間が押されていたので、発表者には時間配分を意識していただけるとよい。

開始時間をもう少し早くできないでしょうか。他府県から参加しますので、昨日のような人身事故で交通機関が乱れると、先が読めないので、困りました。

発生した事故の対策案や考えるべき課題の多さを学ばせていただきました。

西田先生の検証は、映像もありとても解りやすかったです。

息子が通っていた幼稚園もボランティア母を監視に付けていましたが、その責任はみんな知らずにやっていたと思います。でも、責任を知ったらやる人少なくなるし、難しいと思います。この人手不足の世の中で、質のいい責任感のある監視員を雇うのもまた困難なことだな、と。小学校にボランティアで行ってもいいな、と思っていましたが、いざという時に責任を負えるか自信がなくなります...今回は他にもたくさんの気付きや、疑問も解決したり、貴重なデータやアンケート結果、専門家の皆様の問題提起、そして具体的提言があり、素晴らしいシンポジウムに参加させていただきました。本当にありがとうございました。

シンポジウム全体を通しての感想など

新しい学びや気づきがどんどん増える様に、継続して開催をお願いします。

保育園や幼稚園など未就学児に対する予防策の参考例や実践例があれば今後情報発信していただければと思います。

プール事故の分析が興味深かった

園での研修方法を具体的に聞きたいです。また、使用された動画は、どちらかのサイトで見えることは、可能ですか？

2回目の参加ですが、いつも目を丸くして、考えもつかない視点があることに気づかされます。いつも楽しく参加させていただいております。一つ心配なことですが、今回の様に弁護士の方が中心のシンポジウムになると、当たり前ですが法的根拠に基づいた指導を行うようにすることが重要であるとの結論に達します。この時代ですので、それは大変重要なことではあるのですが、では、事故を防ぎつつ、授業がより楽しくなるためには、どうしたらよいかの視点も重要かと思います。怖さが先に立ちますと、教員は委縮します。それを乗り越えて、より良い指導を進めていくために、例えば法的根拠に基づいた実践事例も各テーマ1事例で結構ですので、教員も巻き込んで取り上げていただけると良いかと思います。

事故を起こさないという主旨はもちろんですが、第三者委員会の設置時期にも言及されていたように、万が一起こしてしまった際の誠意ある対応についても個々の先生方が、意識を高くしてもらえるような会にしていきたいです。子供や家族は一生背負います。